

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 3 号
件 名	新潟交通グループに対する適正なる助成金の支出を求めることについて
要 旨	<p>地方財政は、平成のバブル崩壊の影響から脱却できず、危機的状況に瀕しており、新潟市も財政調整基金はわずか 33 億円、市債残高は何と 1 兆 30 億円と、倒産会社の夕張市に類似した財政となっており、財政の立て直しが喫緊の課題です。</p> <p>高齢者の足の確保という大義から、新潟市は新潟交通グループに対し年間 4 億 321 万 1,000 円（平成 30 年度実績）の助成金を支出しています。</p> <p>同様に、秋葉区でも高齢者の足の確保を目的に、区バス並びに山の手地区住民バスを運行していますが、別表②のとおり空気を運ぶ税金の垂れ流しバスと化しており、新潟市も税の適正化のジレンマに苦慮されていることと拝察します。</p> <p>翻って、新潟交通（株）は別表①に示したごとく、各市町村並びに関係機関から多額の助成金 11 億 2,589 万 3,000 円をいただきながら、昨年度から 25 年ぶりに株主配当を実施しています。市町村の助成金を配当原資に充てる姿勢はいかがなものでしょうか。</p> <p>当然のことながら新潟市においても、新潟交通グループに対する助成金の見直しを図る必要があるため、助成金の適正なる支出を求め陳情いたします。</p>
付 託 年月日 委員会	令和元年 6 月 13 日 環境建設常任委員会
受 理	令和元年 5 月 23 日 第 99 号